

地域の要求を実現！木村ひでこ



青砥橋のエレベーター設置

和泉都議(当時)と地域のみなさんと共に要請して9年。東京都は昨年度、基本設計を契約し、実現に向け動きだしました。

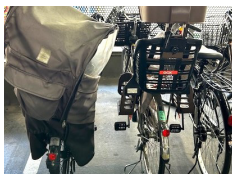


奥戸の森永跡地の巨大物流倉庫問題

地域の住環境や安全を守るのは区の責任。地域の方と一緒に区長に申し入れました。



青砥駅駐輪場(京成リブレの上階)の改修



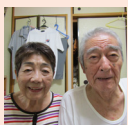
「止めにくい。スペースを広げて」を区に要望し、直ちに京成不動産に改修され楽に駐輪できるようになりました。

「くつろぎ入浴証」が江戸川区内でも利用可能に



新小岩・奥戸地域には銭湯が1カ所もなく、地域の方と繰り返し求め、5年越しに突り、7カ所で利用可能になりました。

「困った」の声 聞いたら、すぐに飛んでいく



中西さんご夫妻(新宿)

介護による心身の疲弊や経済的な困窮で、生きることへの意欲を喪失。親身に寄り添って話を聴いて下さり、不安なこと一つひとつ解決の糸口を見出して下さいました。



レタイさん(日本・ベトナム人)ご夫妻(金町)

在留資格が得られず、困りはてて各党に相談をしました。共産党だけが親身になって対応して下さいました。これは人権と尊厳に関わることで、差別や分断をゆるさない日本共産党ならではの取り組みでした。

活動地域

新小岩、西新小岩、東新小岩、奥戸1~8、高砂1、細田2、青戸、白鳥2~4、新宿1~5

連絡先

事務所
青戸岩5-27-5
TEL・FAX
03-3690-8631

ホームページ



<https://www2.jcp-tokyo.net/kimura/>

生活実感や区政の改善について区民アンケートを実施しています。ぜひご協力をお願いします



YouTubeの番組に出演しました

日本共産党東京都委員会の JCP TOKYO+

これでいいのが葛飾区政！下町人情の町にふさわしい区政への転換を！区議団の奮闘や、葛飾区政の問題点がわかる。吉良よし子参議院議員もでています。ぜひご覧ください。



11.9

葛飾区議選
区長選



困っている人をほうっておけない
毎日が生活相談
介護・福祉の経験をいかし働きます

プロフィール

- 1965年山形県南陽市で4人姉妹の3女に生まれ、4歳で母を亡くし、祖母に育てられました。父は東京に出稼ぎに、狭い市営住宅で小さい時から毎日家事を手伝って育ちました。結婚と離婚を経て、シングルマザーで一人娘を大学まで育てました。
- 2007年社会福祉法人すこやか福祉会入職。医療法人財団健和会に移籍。
- 2017年区議会議員初当選、現在2期目。介護・福祉の経験をいかし「だれもが住み慣れた地域で安心して生活できるよう」と活動してきました。
- 介護福祉士、介護支援専門員、福祉用具専門相談員、住環境コーディネーター3級、防災士
- 趣味は料理とピアノ、中型バイク、ゴルフ、2級船舶

葛飾民報

日本共産党葛飾地区委員会は、木村ひでこ区議会議員の活動について発表しました。
9・10月号外 発行/葛飾民報社 葛飾区新宿5-22-21-208 ☎03-3697-2101

日本共産党

葛飾区議会議員
木村ひでこ
2期8年

あなたの声で区政を動かした8年間、これからもがんばります

木村ひでこ

○給食費の無償化が実現しました！

「義務教育は無償」の立場で財源も示して繰り返し要求してきましたが、区は「学校給食法では給食食材は保護者負担が原則」と拒んできました。日本共産党の吉良よし子参院議員が国会質問で「自治体が全額補助することは否定しない」との答弁を引き出し、無償化に扉を開きました。その後、給食食材補助の増額も実現しました。



○補聴器購入費の助成拡大

議会質問や予算組み替えで、都の助成制度を活用し拡充を何度も求めてきました。ついに、検査費用も補助の対象として含め、補聴器購入費助成の拡大が実現しました。

実現してきた主なもの

- 第1子からの保育料無償化
- 18歳までの医療費無償化
- 修学旅行費などが無償に
- 区内公共施設トイレの洋式化



○低所得世帯のエアコン設置助成

エアコンなしの生活は命の危険を伴います。今年は住民税非課税世帯、均等割りのみ課税世帯、生活保護世帯に、設置助成が実現しました。



○中小企業へ直接支援を実現

コロナの影響や物価高騰に苦しむ個人・法人事業主への直接支援を何回も要望し、個人事業主に3万円、法人15万円の給付金を実現しました。

介護の現場で10年間働いてきました。仕事をするなかで、現場の努力だけでは解決できない多くの課題にぶつかり、何度も悔しい思いをしてきました。政治の力が必要だと痛感し、議員となつて2期8年。物価高騰が続くもと、くらしや生業に関する生活相談が多いです。多くの方が自己責任で何とかしなくてはならないと、不安や苦しさを抱えながら生活しています。困難な時こそ、ひとり一人に寄り添う政治が必要です。みなさんの声をしっかりと議会に届けて、くらしに寄り添った政策になるよう全力をつくします。



木村ひでこ 3期目はこれらの課題にとりくんでまいります

- 電気代補助15,000円、お米券の支給
- 低家賃の区営住宅の建設を
- 介護保険料の軽減制度の実施
- 交通不便地域のバス路線拡充
- 国際基準(スフィア基準)に基づいた避難所を

葛飾区子どもの権利条例の実現へ

- 通学定期の半額補助を
- すべての子どもに10万円の入学準備金支給を
- 国保料の子ども均等割ゼロへ
- 新小岩南地域に子どもの居場所を
- 学校改築で室内温水プール整備を

いのちを守る防災対策

区民の生命と財産を守るとともに、被災後の生活再建を助けるための施策も重要です。災害に強いまちづくりを進めていきます。

